

図書室通信



社会教育センター図書室

☎28・5449

休館

資料整理のため、4月30日(木)は、図書室をお休みします。

ゆめっ子のおはなし会

ボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。ぜひ親子そろってご参加ください。

▶とき 4月18日(土) 午後1時30分から

▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室

▶対象 小学校低学年、幼児

絵本の森

ボランティアグループによる大型紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。ぜひ親子そろってご参加ください。

▶とき 4月4日(土) 午前10時30分から

▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室

▶対象 小学校低学年、幼児

新刊

児童書

きょうはなにきる？

 くらはし れい 作・絵
(KADOKAWA)

きょうは、女の子にとって特別な日。おめかしをしよう、クローゼットを開ければ、そこに秘密の扉があって…。羊のワンピース屋さん、白鳥のブラウス屋さん。心ときめくお洋服と出会う旅がはじまります。



一般書

春かずら

 澤田 瞳子 著
(幻冬舎)

父が殺され、以来12年間、仇討ちのために諸国を巡る清史郎。しかし、仇の手掛かりは見つからない。病死した母の弔いのため故郷に戻った清史郎は、ある少年を助けるが…。



一般書

はくしむるち

 豊永 浩平 著
(講談社)

沖縄の今を生きる少年少女と、80年前の戦場を生き残った少年兵たち。ともに白紙のような彼らを呑み込んでいく巨大で残酷な暴力に、どう立ち向かうのか？現代と戦中戦後の時空を交差させて描く。

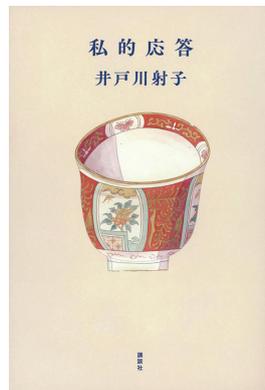


一般書

私的応答

 井戸川 射子 著
(講談社)

自然を許すとはどういうことか。されたことは消えないし、許していかないと自分の心に害が及ぶ。昭和から令和、母娘三代に流れる「時間」と震災の「記憶」の物語。



編集後記

ぽかぽかと暖かい日差しに、春の訪れを感じる季節になりました。いよいよ新年度がスタートしますね。新しい生活に胸を膨らませて歩み出す皆さまの姿に、ますます元気がもたらえる気がします。今月号では、町の未来を担う子どもたちのための企画、「とよやま子ども消防クラブ」と「子ども記者プロジェクト」のメンバー募集を紹介しています。とよやまでも消防クラブでは、訓練を通じて防災の知識をつけるとともに仲間との絆を育みます。とよやま子ども記者プロジェクトでは、自分たちの住む町の魅力を自らの手で取材し、新聞を作り、発信します。いずれも、学校の授業では味わえない貴重な体験を通じて、探求心や考える力を養うことができる事業です。多くの方のお申込みを心よりお待ちしております。

真剣な表情で訓練に励んだり一生懸命にメモを取りながら頑張る子どもたちの姿は、この豊山町にとって何よりの宝物です。町としても、子どもたちが地域に愛着をもち、自ら考える人材を育てられるよう引き続き、取り組みを進めてまいります。

地域の皆さまも温かく応援していただけると幸いです。